■ギネス社にいくら払う必要があるの？

ギネス申請をしたり、問合せをするときに、ギネス社（イギリス）にお金を払わなくてはいけないんじゃないか・・・と思われる方もおられます。

基本的に無料です。（ギネス社の WEB サイトにも、書いてあります）

だから、企業や町おこしの取組みとして、ギネス記録挑戦会などを行ったり、企業 PR のためにギネス申請を行うのは、費用対効果がとても高いと思います。

基本的に無料ですが、ギネス社から返答を早くもらうことができる有料のサービスもありますので、ケースに応じてご提案しています。

たとえば・・こんな風にです↓↓

「大きなのり巻きを作るイベントを地域で行いたい！ギネス記録を塗り替えるイベントを地域の恒例行事にしたい！」

というご相談の場合は・・・（↑これは、フィクションですよ）

まず、いち早くギネス社に問合せをしてみます。
なぜなら、こういった記録には多くの場合、”ルール”があるからです。
そのルールに従って挑戦会をしないと、いくら大きなものが出来ても、ルール違反と言われてしまえばそれまでですからね・・・

そして、ご相談段階で、”イベントまでどのくらい時間があるか”によって、ギネス社への問合せの方法も決めていきます。
ギネス社の WEB サイトなどで問合せもできますし、ギネスブックを見れば、問合せ方法なども載っていますので、問合せを行うのは難しくありません。
しかも無料（！）です。

ところが、ギネス社から返事をもらうまでに、日数がかかってしまう場合があります。ですから、”イベントまでどのくらい時間があるか”は、重要です。
なぜなら、ルールの取り寄せに時間がかかればかかるほど、イベントの企画や準備が押してしまうからです。（イベント会社さんなどにとっては、これは致命的ですね・・・）

期間的な余裕が十分ある場合には、大丈夫でしょうが、イベントそのものに影響があってはいけません。

ですから、こういった場合は前述の、「有料で早く返答をもらえるサービス」をご提案します。（←知っておくと便利ですね）

問合せ自体は、そんなに難しいことでもありませんし、英語を書くことができれば、ギネス社のWEBサイトの問合せフォームから出来ます。
先ほど言いましたように、基本的には料金もかかりません。

「なーんだ、思っていたより気軽！」

そう、そのとおりです！
みなさんも、出来ますよ。

ただ、特にイベントの場合は、先ほど言いましたように、スケジュール的な事には十分気をつけてください。

ふと気付いたら、こんなに長くなってしまいました。
しかも、「お金はかかるの？」という質問にお答えするうちに、スケジューリングの話になってしまいましたね・・

来週もまた、よくいただく質問を取り上げていきます。

■　＊＊＊といった記録を知りたいのだけど・・・

ほんとうに多いお問合せです。

「知りたいのだけど・・・」の次は、大きく二通りに分かれます。

ひとつは、「知りたいのだけど、どうすればいいですか？」
そして、もう一つは、「知りたいのだけど、教えてくれますか？」

ということです。

ギネス記録を自分で調べたい場合ですが、もちろん可能です。
いちばん簡単な方法は、日本語版のギネスブックを買ってきて見ることです。
（ちなみに、ギネス申請などに興味がない方も、ギネスブックはチラっとでも見てみることをオススメします。すごく面白いですよ。　半日くらいは十分楽しめます。ボリュームも多いですし。）

大きな書店では取り扱っていると思いますよ。
なければ、インターネットで注文しましょう。

でも・・・
見たけど目的の記録が無い・・・

「ということは、こんな記録は無いの？」

待ってください！ギネスブックにはギネス記録全部が載っているということではありませんので、もしかすると、あるかもしれません。

そこで今度は、ギネス社の WEB サイトで検索をしてみましょう。
http://www.guinnessworldrecords.com/

なぜこっちを先にしないかと言いますと・・・
ズバリ、英語で書いてあるからなのです。（これはつらいですね・・・）

でも、本当に調べたいことがあるなら、辞書片手にやってみてくださいね。

ただ、「ちょっと興味があっただけ・・」という方にとっては、英語の WEB サイトで調べるというのは、確かにめんどくさいですね・・・
（でも、画像なども見れますので、かなり面白いですよ）

さて、ギネスブックも WEB サイトも見たけど、目的のものが見つからなかった場合ですが、この場合は、ギネス社へ問合せをすると良いでしょう。（WEB サイトから問合せをするのが便利ですね）

この場合、なんとなくハードルが高く感じる（めんどくさきも高くなる）と思います。英語力が必要になりますから、なおさらです。

でも、「企業の PR 作戦で、ギネス申請という取り組みをしたい」という場合や「町おこしイベントをやるために事前調べをしている」といったように、調べる理由がある場合には、きちんと調査をすることをお勧めします。

どちらにしても、このメルマガをお読みのみなさんには、ぜひギネスブックなどを一度見ていただきたいです！なぜって、飛び上がるほどビックリするような記録がけっこうあるのです。面白いですよ。

さて、もう一つの質問、「知りたいのだけど、教えてくれますか？」ですが、記録自体は当社が管理しているものではありませんので（当然ですが・・）、今まで書いてきたように、知るための方法をお伝えしています。

以上、よくある質問についてお答えしましたが、取りたてて難しいことではないのです。ただ、本当にちょくちょく質問をされるものですから、「どうしたらいいか分からない・・という人が大勢いるのだろうなぁ」と思い、取り上げました。

さて、【皆さんのご質問にお答えしま～す】コーナーは、来週で一旦終わりにします。また、不定期ですが、たまにこのコーナーは入れていきたいと思いますので、何か質問がありましたら、お問合せください。

■　お客様を紹介して欲しい（マスコミ関連の方から）

ちょっと一般的とはいいにくい質問ですが、こういった問合せも、本当に多いのです。

なぜかは分からないのですが、ちょうど昨年の 12 月から今年の 1 月あたりが一番多く、毎日・・と言えば言いすぎですが、そう思ってしまうくらいの勢いでした。

こういったお問合せにはいろんなケースがありまして、

＊ギネス記録挑戦イベントを取り上げる番組をやるから、タイミングが合うお客様を紹介して欲しい

＊ギネス記録として認定されたお客様を紹介して欲しい

と、だいたい二分されます。

しかも、個人の方がいい　という場合と、企業の方がいい　という場合、または、町おこしのボランティア団体　・・・など、対象が決まっています。
それは当然で、番組や紙面の企画ですから、その中に、個人・企業・その他の団体がいっしょくたに取り上げられることは、あまり考えられませんね。

こういう場合は、
企画内容を伺ってから、「どのお客様を紹介するのが双方にとって一番メリットが高いか・・」と検討します。
そして、お客様に電話などをして、「取材、受けますか？」と聞きます。

クローズにしたい・・というお客様もありますので、「受けたい！」というお客様がおられる場合には、ご紹介する・・という感じです。

これ、実はけっこう大変なのですが、
お客様にとっては、PR の機会というのとても大切ですので、最大限に活用していただきたいと思っています。

最近では、もともとお客様に、「メディアの方からこういう問合せがあった場合には、ご紹介しましょうか？」と聞いています。
そのほうが、迅速にコトが進みますしね。

ギネス記録申請や記録挑戦会を、PR 戦略のひとつとして行われるケースが殆どですが、その場合、やはり広報活動が、最終的な成果を左右する要因と言っても過言ではありません。

もちろん、それは皆さんそれぞれに努力されていることなのですが、当社のWEB サイトは、メディアの方がたくさん見られていますので、PR をしたいサイドと情報が欲しいサイドを結びつける役割になりたいと考えています。

メルマガ読者の中でもし、ギネス記録申請や挑戦会に興味がある方がおられましたら、広報活動にもエネルギーを注いでください。
いろんなケースを見てきましたが、予想以上の効果が期待できると思います。

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.30 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

ギネス記録挑戦イベントを企業の活動に取り入れて成功！
合資会社ピット　代表　清水流美

みなさんこんにちは。
今回から、数回に分けて、ギネス申請企業活動に上手に活用している例をご紹介いたしましょう。
皆さんにもきっと参考になると思います。

町の活性化成功事例は、バックナンバーでご覧いただけます。
・・>> http://www.sekaikiroku.com/merumaga/index.htm

さて、今日ご紹介いたしますのは、新潟県のお餅メーカー「株式会社きむら食品」さんです。

いきなり話がずれてしまいますが、きむら食品さんの WEB サイト、親しみがあってスゴくいい感じなのです。
http://www.kimura-foods.co.jp/
きむら食品さんの姿勢やコンセプトがにじみ出ていますよね。

さて、きむら食品さんが、どんな取り組みをされたかと言いますと・・・

「でっかい鏡餅を作ってギネスに挑戦しよう！」です。
当社の WEB サイトでもご紹介しておりますので、ご覧下さい。
・・>> http://www.sekaikiroku.com/get/kagamimochi.htm

いいですね～。こういう自由な発想が社内から出てくるってことは、すごく社内がリラックスしているのでしょうね。

考えても見てください。
もし、おかたーい感じの「○○戦略会議」で、”我々がこの会社をもう一歩発展させるために出来ることは何か、自由に意見を言い合おうじゃないか！”という場では、”ギネスに挑戦ってのはどう？”なんて意見は出にくいと思いませんか？

「今度の社内イベントで、いっちょ今まで無かったくらい盛り上がりたいね！近所の人たちも、巻き込んでさ・・・何か面白いことない？すっごいデッカイこと、やろうよ～！」みたいな自由な雰囲気の中で出てきたのではないかと、私は思っております。

これは、個人的な考えであって、ぜったいにその通り・・というわけではないのですが、どちらにしても、「新しいことをやってみよう・面白いことをやってみよう」というパワーがある会社だからこそ、こんなアイディアが生まれると思います。
それは、きむら食品さんの WEB サイトを見ても、伺えることですね。
・・>> http://www.kimura-foods.co.jp/

さて、この、きむら食品さんですが、2001 年 12 月に、品質マネジメントシステムの国際規格 ISO9001：2000 年版の認証を取得され、その記念を兼ねて、社員の方々の更なる意思統一と、地域の方々との親交を深めるために、「でっかい鏡餅を作ってギネスに挑戦しよう！」というイベントを行われました。

これが、相当の規模。お餅も相当の大きさなら、イベントもデッカイ規模。そして、その結果きむら食品さんが得られた成果もビッグ。

食品メーカーにかかわらず、こういったイベントを通じて、地域の方とのコミュニケーションを強めていく、とても参考になる事例です。

来週は、そこの部分を深めていきますね。
お餅の大きさも気になるところです・・・

では皆さん、来週またお会いしましょう～！

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.31 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

ギネス記録挑戦イベントを企業の活動に取り入れて成功！
合資会社ピット　代表　清水流美

みなさんこんにちは。
あっという間に 5 月も半ばです。

イベントも盛りだくさんの季節。当社はテンテコマイです。

最近はこのコラムで、ギネス申請やギネス挑戦の”成功事例”を取り上げています。先週からは、「企業の活動に於いてギネス記録挑戦に成功した例」として、新潟県の株式会社きむら食品さんをご紹介しております。

バックナンバーも、ぜひご覧くださいませ。
・・>> http://www.sekaikiroku.com/merumaga/index.htm

さて、お餅メーカーの、きむら食品さんが、品質マネジメントシステムの国際規格 ISO9001：2000 年版の認証を取得した記念イベントで、「でっかい鏡餅を作ってギネス記録を取ろう！」というイベントを行われた・・・ということまで、先週お話していましたね。

まずは、このビッグ鏡餅をご紹介しましょう。
正式には、The largest oo-kagami-mochi rice cake　と登録されています。

当社の WEB サイトでご紹介しておりますので、見ていただくと、よく分かると思います・・・
http://www.sekaikiroku.com/get/kagamimochi.htm

大きさは・・・上段のお餅の直径が 139㎝、下段のお餅の直径が 178㎝、ふたつあわせた高さが 90㎝、そして、重さですが・・・・・2097kg です！

ちなみにですが、一般的に飾られる鏡餅（500g 程度）に比べると、4,194 倍ほどの大きさなのですって！

このイベントは、2002 年 2 月 20 日に行われました。
イベントの目的のひとつに、「全社員の更なる意思統一」というのがあり、
その目的に忠実に従い、2097kg の大鏡餅制作は、本社社員 210 名によって行われました。

もちろん、お餅を固める時間も必要ですから、一日で終わるものではありません。

みごと完成後は、皆さんがご家庭で行うのと同じように鏡開きを行い、行事に

参加した社員と一般参加者で試食を行われたそうです。

ここで、忘れてはならないのが、このイベントのもう一つの目的である、「地域の方々との親交を深める」です。
そのため、後日、地域の保育園や小学校、中学校など、18 の施設に配布し、4,100 名ほどの方が、ジャンボ鏡餅を賞味されたそうです。

ひとつのイベントに、明確な目的意識をもち、そしてその目的をベースにした計画を立てられています。
だからこそ、その活動が多くの方に届き、ちゃんとした結果に結びつくのですね。

さて、日程的なことを整理してみましょう。

イベントを行われたのが、2002 年 2 月 20 日です。
きむら食品さんと当社が協力し合い、申請書類を数ヶ月かけて整え、ギネス社に送ったのが、2002 年 5 月上旬。
そして、2002 年 11 月に、ギネス社から一通の FAX。ちょっと質問があったようです。（鏡餅って、日本独特のものですから仕方ないですね）
そこからが長かったのですが、2003 年 7 月中旬に、待ちに待った認定証が届きました！

そして、このイベントを通じて、きむら食品さんが得られたものは、何ものにも変えがたい、価値があると私は思います。

それについては、ご担当者からいただきました感想を WEB サイトでご紹介しておりますので、そちらをご覧いただいたほうがいいと思います。
・・>> http://www.sekaikiroku.com/get/kagamimochi.htm

こういったイベントは、相当大掛かりですので、準備も大変です。
でも、これだけ地域の方との信用関係を結ぶことができ、また、評価も変われば、非常に効果の高い投資ということになると思います。

ということで、今回は終わりにいたします。
来週は、何をお話しましょうか・・・お楽しみに！

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.32 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、ギネス申請した例を分析したり、よくあるご質問にお答えしたり、ギネス記録やギネス申請に興味がある方に、より知識を深めていただく内容をお話してきました。

そして、今回から、またちょっと面白いことをします。

「こんなギネス記録どうですか？」と、私からアイディアを出していきます。
アイディアがいつまで続くかちょっと不安ですが。。

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

【なが～い・麺】

ギネスブックを見てみると、食べ物に関する記録が結構あります。

たとえば、「最大のドーナツ」といったものです。

食品メーカーの広報活動の一環で「最大の●●のお披露目」をすることもあるでしょうし、日本では、まちおこしのイベントで「最大の●●を作ろう！」というのをよく聞きます。

この季節になると毎年のように、

「流しそうめんで世界一にチャレンジしたい！」
という相談を寄せられます。

山の斜面など、ちょうどいい傾斜を利用して、流しそうめんの骨組みを組み、
大きな規模で流しそうめんをやろう！というものです。

（実際、やろうとすると、準備等ものすごーく大変です。）

こういうのをちょっとアレンジして、今回のアイディアは、
「なが〜い・麺」

といっても、規模ではなく、「麺そのもの」です。

ギネスブックで「大盛りパスタ」のように、「麺の規模」の記録は見たことがありますが、麺そのものが長いものって、なさそうですよ。

さて、どんな活用の仕方があるかを考えてみましょう。

まちおこしのイベント（食品メーカーが協力）

　食べ物系のイベントは楽しいですし盛り上がります。
　集客効果もあるでしょう。

　麺といっても、パスタ・そうめん・うどん・そば・ラーメンなど、
　色々ありますね。
　まちおこしと考えると、地域の特産品に関係するものがいいですが、
　単にイベントに集客したいという程度なら、こだわる必要もありませんね。

こんな風に、ちょっとしたアイディアを出していきますので、
「これ、使えるかも！」という場合には、どうぞ使ってください。

　そういえば、ところてん　にも使えるかも・・

【メニューに載った一番長い名前の料理】

ちょっと食べ物ネタが続きます。

これ、ふとアイディアが沸いてきたのですが、
「なんだかありそうじゃない？」ということで、
ギネス社のWEBサイトで「menu」という検索キーワードで調べてみました。

が、出てこなかったので、無いかもしれません。

どんな場面で活用できるでしょうか。

”「最も長い名前の料理」というギネス記録を持っているレストラン”
として、レストランのひとつの目玉を作ることもできますし、
簡単ですが、カクテルの名前に応用（？）したりすることもできます。

ここで、とても重要なことを言います。

「名前をつけるだけなので、費用が一切かからない」

これは嬉しいですね。
ギネス記録というと、「最大の○○を作った！」など、制作が絡むものを想像
してしまいがちです。

当社に寄せられるご相談の殆どが、こういったものです。
または反対に「最小の○○」というのもありますが、
最大に比べて材料費がかからない分、技術的に非常に難しかったりします。

その意味では、名前をつけるだけ！という手軽さは嬉しいですね。

皆さんなら、この「最長の名前」、どんなものに応用しますか？

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.34 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【メニューに載った一番長い名前の料理】でした。

バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20040621.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

【最大の○○コレクション】

ギネスブックを見ていると、コレクションものの記録が驚くほどあります。

個人の方のコレクションが多いのですが、
「ばんそうこうのコレクション」や「果物ラベルのコレクション」など、
けっこうハードルなく手に入りそうなものから、
「ホテルの荷物にはるラベルのコレクション」など、
かなりの投資が予想されそうなものまで、様々です。

ここでは、コレクションをまちおこし事業のひとつにできないか、
ということを考えてみたいと思います。

どの市町村にも、その地域で有名なものがあるはずです。

たとえば、ここでは私の住んでいる京都を考えてみましょう。

京都といえば、「お寺」と言う方もいるでしょう。

そこで・・・

観光客をお寺に誘導し、そこで作った絵馬を町が主体となってコレクションするという事業も考えられます。

派手な事業ではありませんが、コンテストなどにつなげることもできますし、記念本の作成などもおもしろいでしょう。

コレクションでまちおこしといえば、
記念館などを作って・・と考えがちですが、
そこまで投資をしなくても、活かせる方法はたくさんあると思います。

読者の皆さんのなかには、まちおこしに関わる方々もおられると思いますが、ひとつのヒントにしてください。

今回はたまたま、私の住む町である京都なら・・・という視点で考えてみましたが、皆さんの町では、どんなことができるでしょうか。

【最大の寄せ書きシリーズ】

町おこしにも企業の取り組みにも活用できそうなアイディアです。

卒業文集や、寄せ書きなど”思い”が込められているものを読んで、
思わず熱くなってしまうこともありますね。

たとえば、企業で年一回、何メートルもの大きさの巨大なウチワを作り、
そのウチワに社員が寄せ書きをします。

そして、入社したときの思いや経験談などを寄せ書きします。

これで、一年に一度、「最大のウチワの寄せ書き」が誕生します。

単にギネス申請するだけではなく、
こういった試みは、もっと他のところで成果をもたらすと思います。

たとえば、あたらしく社員が入ったときに、先輩が作ったこの寄せ書きを見せることによって、会社の風土を早く理解することができます。

また、お客様にも見ていただくと、すごく信頼付けに繋がると思います。
（逆に、お客様のファンレターでウチワを作ってもいいかも）

ポイントは、「生の声を届けることができる」ですね。

そして、今回はたまたま「ウチワ」が頭に浮かんだので、このようにしましたが、皆さんがイベントなどをするときには、ちらっと「日本の文化や産業にからめてみようかな・・」と考えてみてください。

ギネス申請コンサルティングの仕事を長いあいだやっていますが、けっこう、「日本独特」というのも突きどころかな・・と感じています。

そして、もうひとつ、これは重要なポイントですが、せっかくイベントを行なうのであれば「広報活動」を通じて集客を行ったり、取材を受けたりしたいですよね。
その場合には「日本の文化や産業に関係している」内容であることがとても重要なキーになります。

この「最大のウチワの寄せ書きでギネスに挑戦」、企業だけでなく、学校行事や地域活性化の事業としても活用できそうですよ。

皆さんの企業・地域・学校で、どんなことが考えられますか？
そして、どんな成果が得られるでしょうか。

面白いアイディアがありましたら、メールくださいね。

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.36 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【最大の寄せ書きシリーズ】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20040719.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
頭のなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな〜」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり〜

【最大規模の同時○○】

今日は、皆さんにも頭を使っていただきましょう。

ギネス記録には、「いっせいに○○した規模が大きい記録」というのが
結構あります。

たとえば、

・いっせいに乾杯した記録
・いっせいにキスをした記録
・いっせいにブーブークッションを鳴らした記録

などなど。

集客イベントに向いているよう見えますね。そうだと思います。
（というか、集客できなければ、このイベントは成り立ちませんが。）

ポイントは、

・簡単（え？なになに？と思われやすい）
・安全
・知識や技術を問わない

・参加する人を選ばない

などが上げられます。

こういった、「いっせいに○○する」というイベントを、
会社のイベントや地域活性化イベントに取り入れることもできると思います。

「超おたのしみイベント」としてピッタリですね。

もりあがりますよ〜。
集客力もバツグンでしょう。

一過性になる可能性が高いと見えるかもしれませんが、
毎年のお楽しみイベントとして根付くよう工夫することもできます。

ギネス記録挑戦をする、という前提では、
このようなイベントに関しては、運営や管理上、少し注意が必要です。

もっとも大きな注意点は、
「いっせいに」が守られたかどうかを、どうやって見極めるか。です。

「本当に、誰もサボらずいっせいにブーブークッション鳴らした？」
「本当に、全員キスしてた？」
ということ。

ここには、けっこう注意しなくてはいけませんが、
なぜなら、「いっせいに○○した」という記録なのですから。

でも、それさえクリアーできれば、
後はそんなに難しくないでしょう。

規模が大きい分、企画・運営も大変になってきますが、
それ以上の成果・価値があると思います。

皆さんが属する企業・地域・学校でやってみると面白そうな、
【最大規模の同時○○】　何かありますか？

イベントには労力・時間・費用が当然かかります。
同じ投資をするなら、こういったお楽しみ性を持たせつつ、
集客力のあるイベントを行いたいものです。

そして、どんどん広報をしていってください。
なぜなら「ギネス記録挑戦会」や「ギネス記録申請」というキーワードは、
広報にとっても効果的だからです。

ここをしっかり押さえてください。

広報をきちんと行う→今年のイベントが成功する→来年につなげる

当たり前すぎる公式になりましたが、
広報をきちんと行うことは、本当に費用（労力）対効果が高いのです。

今日は、「最大規模の同時○○」というイベントをご紹介しました。
ギネスブックを見てみると、かなりたくさん載っています。

さて、皆さんの会社・学校・地域では、
どんな「いっせい○○」が面白いでしょうか。

頭をひねってみてください。

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.37 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【最大規模の同時○○】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20040802.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、

あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

【異なる場所で同時に何かをしてみる】

たとえば、
・フランチャイズの飲食店
・全国展開している企業

など、拠点（自由に使える場所）が全国に広がっている場合、
「異なる場所で同時に何かをしてみる」のも良いかもしれません。

そうですね、ひとつ例をあげるとすれば・・
全国展開しているレストランで、
「春分の日に、全国いっせいに同じ方向を向いてノリマキを食べる」
なんていうイベントは、いいかもしれません。

これは面白いですね。
こんなイベントがあったら、純粋に「行ってみたい」と思いません？

参加する人は「自分もギネス記録を作ることにかかわれる」のですから、
一般参加者としては、ワクワクしますね。

イベント的にも盛り上がりますし、
「ギネス記録に挑戦します」というニュース性が手伝って、
広報効果はバツグンに出ると思います。

そして、これを何年か続けると、

「いつものイベント」として定着します。

毎年ギネス申請することが目的なのではなく、
「いつものイベント」として定着させ

「春分の日といえば、あのレストランでいつもオモロイことやってるよね～」
のように、自動連想が起こることが目的です。

ここまでくれば、立派なブランドですからね。

さて、ひとつの例として、レストランを仮定してみましたが、
その他の業種でも「全国いっせいに○○する」というイベントは
できるでしょうし、
地域活性化の取り組みでも、アイディアは沸いてくると思いますよ。

┌───────────本日のまとめ───────────┐

・全国でいっせいに○○する　を考えてみる。
・参加者が純粋に「参加したい」と思うようなものを。
・「いつものイベント」として定着させることを考える。

└──────────────────────────────┘

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.38 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【異なる場所で同時に何かをしてみる】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20040816.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。

「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

【高い場所でやってみる】

おなじことをするにしても、高い場所でやってみるのはどうでしょうか？

たとえば、
「もっとも高い場所で開催された○○」や
「もっとも高い場所にある○○」です。

イベントを行う場合、
かならず、ある程度の費用と時間と労力は必要になります。

それなら、
とびきり高い場所を借りて行ってみるのは如何でしょうか。

それだけで、
”「もっとも標高が高い場所で開催された○○」
　　　　　　　　　　として、ギネス記録に申請します。”

という、ニュース性が生まれます。
これは”ギネス記録”や”ギネスブック”が持つ
ブランド力や話題性のおかげです。

ニュース性が生まれると、広報に成功する可能性が高くなり、
その結果、イベントの集客力が高くなり、
イベントそのものの成功につながります。

さて「高い場所でやってみる」、応用範囲は広いと思いますよ。

┌────────本日のまとめ────────┐

・費用、労力、時間をかけて”何か”をやるなら、
　もう少し要素を足して、ニュース性を持たせる。
・ニュース性を持たせた結果、広報価値が高まる。
・ニュース性を持たせるために”ギネス”は最適。

└──────────────────────┘

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.39 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【高い場所でやってみる】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20040830.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

【今、ここにあるものの規模を大きくしてみる】

数ヶ月前、テレビで見て驚いたのですが、
アメリカで、ビルの壁面の窓ガラスを利用して、
夜にテトリスなどのゲームを行うイベントがあったそうです。

□□□□□
□□□□□
□□□■□
□□□■□
□□□■■

参加者の携帯電話が窓の照明のコントローラーになっていて、
携帯を操作することにより、窓テトリスを操作することができる、
という仕組みでした。

これがギネス記録かどうかは、実は私は存じませんが、
「今、ここにあるもの」を巨大にしてみる、という視点は
とても面白いなぁと思いました。

そして、それを実現するために、
ビルを使うという手段も、参考になりそうです。

日本でも、ビルの壁面を用いて、巨大な何かを描いてみる・・
などの試みを聞いたことがありますが、
発想としてはシンプルなものだと思いますので、
皆さんも、機会があれば一度考えてみてください。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

・「今ここにあるもの」を巨大化させる
・そのために「ビルの壁面」など、
　すでにあるものを利用する。

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

【地域の伝統産業や、日本の文化に由来するネタで狙う】

これはどういうことかといいますと、

独特の産業や文化に由来するネタで、何か大きなモノを作った場合、
今まで、同じものに挑戦した人・企業・団体は、たぶん居ないだろう、
という発想です。

すでにギネスブックに載っているものは、今の段階で”世界記録”です。
世界一を塗り替えるのは、相当大変です。

でも、今ない記録なら、自分（または自分たち）が、
基準を作れる可能性がある・・ということです。

だから、”世界的スタンダードになっているネタで狙う”より、
”地域の伝統産業や、日本の文化に由来するネタで狙う”
ことを考えるのです。

え？日本独特のモノでもいいの？世界のギネスなのに？？

と思われる方もいると思います。

簡単にいうと、こたえはYes。
のりまきも、日本独特のものですし、
今まで当社がサポートしたなかには、

”門松”や”そろばん”そして”盆踊り”などなど、
日本独特のものも結構あります。

もちろん、魅せ方には工夫が必要です。
ギネス社が、そのものを理解しなければ、
認定する・しないを決める指標をもてないですからね。

その意味では、いくらがんばって説明しても、
ギネス社の理解の域を超えたモノであったり、
”いくらなんでも、こんな特殊なモノは、世界記録としては・・・”
といったリスクもまったくないとは言えないと思います。

ただ、日本（または、その地域）独特のものって、
自分たちが一番乗り！になる可能性が強いですから、
その点では、有利に働くこともあります。

ということで、今回はあえて不利そうに見えるものをオススメしてみました。

┏━━━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━━━┓

・一番乗り！になれれば有利になることもある
・そのために、日本（または、地域）独特のネタを
　考えてみる。

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.41 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【地域の伝統産業や、日本の文化に由来するネタで狙う】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20040927.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり〜

今日のヒント
【時代の流れを考える】

今日は、「企業がギネス記録に挑戦する」場合と
「地域活性化のイベントでギネス記録に挑戦する」場合のヒントです。

これらの場合、最終的な目的は、
「広報」であることが多いと思います。

・ギネス記録申請をして、企業の知名度を高めたい。
・ギネス記録挑戦会をして、地域の名前を全国に発信したい。

というような相談を多くいただきますが、
「ギネス」という言葉がもつＰＲ性やブランドイメージを考えれば、
成果が期待できる取り組みです。

ここで、”広報”を目的とした場合、
”広報価値が高くなる取り組みをしてみよう”
ということを提案したいと思います。

たとえば、イベントそのものに、今の時代に注目されやすいメッセージ性を
こめる、ということです。

色々なことが考えられますが、
たとえば、「地球温暖化」や「地球環境」など。

メディアに対してプレスリリースなどを行なった際の反応は
格段によくなると思います。

ひとつの例として、

ギネス記録には、
「大勢の人がいっせいにゴミ拾いをする」という記録があります。

そう、ゴミ拾いイベントに参加した人数を競うものです。
（詳しいルールがありますので、実際イベントを行なう際には、
ルールを参照する必要があります。）

こういったイベントを行い、
「私たちは、地球環境をよりよくするために、ボランティアでゴミ拾いイベントを行ないます。自分たちが住む地球を、より住みよく、そしてよりクリーンに保つために、ぜひご参加ください。
このイベントに参加した人数で、ギネス記録申請を行ないますので、ご協力お願いします。私たちの町から、地球環境を良くしていきましょう！」

という意味合いを持たせれば、取り組みそのものの価値もさることながら、
広報価値も高くなります。

実際に、この「ゴミ拾い」イベントに、いくつかの市町村が取り組んでいる
（又は過去に取り組んだ）とも聞きます。これらの市町村が、
広報価値を考えてこのイベントを選択されたかどうかは別として、
これから何らかのギネス記録に挑戦したい、という場合には、
時代の流れにマッチしたキーワードを持つ記録に挑戦することを考えてみては如何でしょうか？

本日のまとめ

・時代の流れにマッチしたキーワードを持つイベントを考える。
・その結果、イベントそのものも、価値あるものになる。
・そして、広報価値も高くなる。

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.42 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【時代の流れを考える】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20041011.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【オーソドックスなアイディア】

色々と、ギネスネタを探ったり、あたらしく考えてみたりするのですが、
やはり、ギネスブックを見てみると、

・分かりやすい

ということがひとつの特徴に見えてきます。

・世界一大きい
・世界一小さい
・世界一長い
・世界一短い
・世界最速
・世界最遅

などなど

そして、皆さんが一番考えやすいのは・・・

・世界一大きい

ではないでしょうか。

やっぱりシンプルで分かりやすいといっていいと思いますし、
実際、ギネスブックには、世界一大きな○○という記録が
多く掲載されています。

さて、世界一大きな○○といっても、世界記録を狙うのですから、
並大抵の大きさでは難しいと思います。

詳しくは、ギネスブックを見ていただくとして、
世界一大きな○○を作るためには、
それなりの費用もかかりますし、準備も大変です。

それでも、広報価値やその他の価値を検討し、
費用対効果、労働対効果が高いと判断できる場合には、オススメです。

何せ、分かりやすいですから。

分かりやすい・・・というポイントは、
広報的にも効果があるようで、

ギネス関係のニュースを取り扱う、
Yahoo！ニュースの「ギネスブック」というカテゴリを見ていますと、
”世界一大きな○○”というニュースに、しばしばお目にかかります。

さて、皆さんの企業や自治体では、
どんな”世界一大きな○○”を作ることができるでしょうか？

本日のまとめ

・オーソドックスに”世界一大きな○○”を考える
・ギネスブックでも多く掲載されている

・分かりやすさゆえに広報価値も期待できる

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.43 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【メディアを意識する】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20041025.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【よってたかって】

今日は、地域活性化イベントや、PR 効果を狙ったイベントに最適のアイディアです。

ギネス記録には「いっせいに○○した記録」というのが、けっこうあります。

たとえば、

最大規模のYMCAダンス・最大規模の盆踊りなどもありますし、
同時にはみがきをした記録・・・なんていうかわったものもあります。

こういうのは、地域活性化のイベントにもってこいだと思います。

なぜなら、まず一つ目に「資源は人」というのがあげられます。
告知以外に、材料費などもかかりませんし、規模の大きさの割には、
費用は少なくすみます。

そして二つ目に、簡単。
特に技術を必要としないので、私でも、皆さんでも参加することができます。

そして三つ目に、集客効果。
「ギネスに挑戦しよう！」って分かりやすいですよね。
しかも、どんなことをするのか、目に見えて分かりますので、
自分が出来るかどうかの判断もつきやすい。
それに、ギネス記録挑戦イベントに参加できるのですから、
興味がわくのは当然です。
私も上述の、ブーブーイベントに参加してきました。

最後は、メディア効果。
これは経験値ですが、集客目的に、メディアに対して情報発信をするときも、
相当効果があります。
チラシなどの告知とあいまって、相当大きな集客力につながります。
そして、イベントにも多くの取材が入ります。
それは、ネタがいいから。魅せるネタだからです。
そして、翌日から数日間、新聞・ラジオ・テレビでは大賑わいするでしょう。

実際にそういった現場に携わり、
地域活性化のイベントには、「いっせいにに○○」という記録は
やっぱり効果が高いことを実感しています。

地域活性化だけではありません。
企業も、PR効果を狙った大規模イベントをすることがあります。
そんなときに、こういうネタはいいですよ。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

　地域活性化のイベントに最適の「いっせいに○○」は、
・集客効果がいい
・まちのPRにも効果的

　地域活性化にたずさわる皆さん、どうですか？
┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.44 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【よってたかって】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
　　　　　　　http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20041108.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【自社の製品・サービスに直結した記録】

さて、何のことかといいますと・・・

企業がギネス記録に申請するというときに、
「自社の信用や、製品・サービスイメージを高めたい」
という目的を持つことがあります。

つまり、PR とは少し違い、
もっと絞った意味を持たせたい・・ということです。

こんなときは、
・自社の製品・サービスに直結したネタ

に関しての、ギネス記録を狙うのがいいでしょう。

ひとつ事例を紹介しましょう。

株式会社半導体エネルギー研究所（SEL）代表取締役社長であり、
工学博士である山?舜平氏が認定を受けたこんな記録です。

特許取得数世界一（総取得件数　3,245 件）
米国特許での発明件数　1,200 件
米国外特許での発明件数　2,045 件
（ともに、2004 年 5 月 31 日時点）

どうですか？
あ、すごいかどうかを聞いているのではありませんよ。
すごいのは確かですから。

ではでは・・
この、半導体エネルギー研究所の業務内容を見てみましょう。
株式会社半導体エネルギー研究所（SEL）
http://www.sel.co.jp/
事業内容：結晶系薄膜集積回路、液晶ディスプレイおよび EL ディスプレイ、
半導体薄膜トランジスタの研究開発および
これらに係わる特許取得ならびに権利行使

どうですか？

この記録は、SEL の事業内容に直結した記録であることがわかりますか？

これは強いです。
「わが社は、この分野でギネス記録を取ったんですよ」で通用しますから。

その一言で、
信用性、信憑性を与えることができますし、
同時にインパクトを与えることもできます。

ギネス記録というのは、
ある種、世界共通のパスポートですので、
海外をまたにかけて事業を行なっている場合は、なおさら活用できそうです。

ここで注意点ですが、

・自社の製品・サービスに直結したネタ

を貫くことが必要です。

なぜならば、当然ギネス認定を受けられない場合もありますので、
そんなときにも、自社製品やサービスに関わりが深い内容で申請していれば、
万一認定を受けられなくても、かならずプラスイメージに働くわけです。

このプラスを最大限のプラスにするために、
「自社の製品・サービスに”直結”したネタ」という必要があるのです。
中途半端はもったいない。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

企業の信用性・イメージをアップするために、

・商品・サービスに直結したネタで申請する
・”直結”にとことんこだわる

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.45 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、【自社の製品・サービスに直結した記録】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20041122.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【”ギネス認定の○○”を活用し、コンセプトを浸透させる】

いままでこのコーナーでは、
・ギネス記録挑戦会を行う
・ギネス申請を行う

ことを前提にして、
それを活用し、企業 PR や地域活性化などに活用していきましょう、
というアイディアをお話してきたのですが、

今日は、ちょっと視点を変えて、

すでにギネス認定を受けているものを活用して、
イベントなどを行ない、メッセージを伝えていく、
ということについてお話します。

というのも、
このような記事を見つけたのがきっかけでした。

＜Yahoo！ニュース　ギネスブック＞

【平和の願い込め大綱引き】
１９４４年の大空襲から満６０年を迎えた１０日、
那覇市内の繁華街で伝統の「那覇大綱挽」が催され、
約１万５０００人が平和への願いを込め、
ギネスブック認定の世界一の大綱を引いた
（時事通信社）

記事では明確に読み取れませんが、
おそらくこの大綱は、すでにギネス記録として
認定を受けているものだと思います。

こういったイベントは、
コンセプトやメッセージを伝えるために行なうもの。

そのコンセプトやメッセージを”より広く伝える”ために、
”ギネス認定の大綱”を活用したのでしょう。

これは、とても上手い使い方と思います。

「平和の願いを込め、大綱を引いた」
と
「平和の願いを込め、ギネス認定の大綱を引いた」

とでは、インパクト性がまったく違います。

このように、
「すでにギネス認定を受けている○○を活用してイベントを行なう」
というのも、いいですね。

この、那覇市のイベントは、
「平和の願い」というメッセージを伝えるために、
ギネス認定の大綱を使ったわけですが、

ほかにも、地域活性化イベントや企業主催のイベントなどで、
「すでにギネス認定を受けている何か」を活用したイベント、
考えられそうですね。

┏━━━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━━━┓

・「すでにギネス認定を受けている何か」を活用する。

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.46 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【”ギネス認定の○○”を活用し、コンセプトを浸透させる】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20041206.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」

「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり〜

今日のヒント
【とばす！】

今日は、単純なアイディアです。

何かを飛ばす、というのは、老若男女問わず、私たちは簡単にできます。
といっても、”手で投げる””足で蹴る”というのではありません。

口で飛ばす
鼻で飛ばす

ということです。

これなら、身体能力の差にあまり影響を受けません。
つまり、記録挑戦会などを催したときに、
”はじめから勝敗がわかっている”ということになりませんし、
意外や意外・・な結果になることもあります。

そして、”飛ばす”とギネスとの関連ですが、
じつはギネス記録の中には、さまざまな”飛ばす”記録があります。

たとえば、
・さくらんぼの種をどれだけ飛ばせるか（口）
・スイカの種をどれだけ飛ばせるか（口）
・マシュマロをどれだけ飛ばせるか（鼻）

などです。

もっとたくさんあることでしょう。

気軽なイベントなら、こんな気軽な記録に挑戦してみる、というのもいいですね。

または、飛ばすモノを地域の特産品にするなどの工夫をしてもよいでしょう。

さあ、みなさんなら何を飛ばしますか？

┏━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━┓

・とばす！

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

\>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.47 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【とばす！】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20041220.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。

「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【IT】

IT 関連の記録がここ数年、目立ちます。
ネットで拾ったものを少しご紹介しましょう。

・最大のインターネット上のジョークへの投票
・最大のオンライン・デート・サービス
・最古のインターネット・ベンチ
・最大のインターネット上のポップス・コンサート

そのほかにも、アクセス数や、ダウンロード数など、いろいろあります。

上記でご紹介した４つの記録は、私の推測ですが、
”新規の記録”として申請をしたものではないかと思います。

なぜなら、業界自体がまだ新しいので、
すでに同じ記録が存在していて、それの更新に成功した・・・
というのでは、ないと思います。

インターネット関連の記録カテゴリは、
まだガラガラと考えていいと思います。

つまり、自身で”新規の記録”を作れる可能性が高いということ。
インターネットは世界共通のものですので、認定を受けるためには、
かなりの規模が要求されることと思いますが、

この業界でギネス記録をとったとすれば、
たちまちのうちにネットを通じて日本中に広がり、
広告効果も計り知れないものになるでしょう。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

・インターネット業界のように、
　”ガラガラ”な業界を探してみよう。

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.48 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【IT】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050103.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【地域の歌】

「京都市音頭」というものがあるのを、皆さんはご存知でしょうか？

京都市の音楽制作会社の代表が、京都への理解を歌で深めようと、

市の歴史や行事などを盛り込んだ１０００番まで歌詞のある歌のことです。

ちらっとラジオで聞いたときにピンときました。
「こういうのって、ギネスっぽいなぁ」と。

そして、
「この歌をギネス申請して、さらに、来年の夏には、
　この歌をかけながらの盆踊り。
　そしてその盆踊りを、”最も長い盆踊り”として申請したら面白いなぁ」と。

地域の活性化にもつながりますし、
歌の申請→盆踊りの申請　と、チャンスが二倍になります。
それだけ、広報のチャンスも広がりますので、
多大な効果が期待できるでしょう。

京都市が中心になって、こんな面白い企画、やってほしいですね。
また、皆さんの町でもどうですか？

地域活性化に携わる皆さん、このようにインパクトのある企画をすれば、
イベントは間違いなく成功するでしょう。
全国に町を PR するきっかけにもなりますね。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

・ギネス申請のチャンスを２倍に増やし、
　広報チャンスも２倍に増やせる企画を考えてみる。

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> ギネス申請　虎の巻 VOL.49 <<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<<

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、

【地域の歌】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
　　　　　　　http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050117.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな〜」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり〜

今日のヒント
【大義名分を全面に出す】

先日、山梨県身延町の「句碑の里を育てる会」が運営する句碑が
世界最多の句碑」として、ギネス申請を行いました。

約１ｋｍにわたって並べられた総数 1,049 基の句碑を運営されています。

句碑とは、俳句などを碑に刻んだもので、同会では、
「日本の伝統文化である、俳句を世界の人々に知ってもらい、
また、日本人の俳句に対する関心を高めるきっかけとしたい」として
申請しました。

記録に関しての詳細は、当社 WEB サイトをご覧ください。
・・>>　http://www.sekaikiroku.com/okyakusama/20041224kuhi.htm

その「記録申請報告リリース」を各メディアに当社より配信したのですが、
配信当日から反響が異常に大きかったのです。

それはもう、とどろくばかりでした。

当社では、お客様がギネス申請をした場合には、
「こんな記録申請をしました。」という報告リリースを配信しています。

ありがたいことに、ほぼ１００％の確率で、
なんらかの媒体に掲載いただくのですが、
句碑の里に関しては、”ものすごく”反響が大きかったのです。

参考までに・・・

プレスリリース
・・>>　http://www.sekaikiroku.com/okyakusama/20041224kuhi.htm

掲載記事の一部
2004年12月24日、毎日新聞WEBサイト
・・>>
http://www.mainichi-msn.co.jp/shakai/wadai/news/20041225k0000m040043000c.html
（改行ナシでURLをコピーしブラウザに貼り付けてください）

その他、いくつもの媒体で紹介されました。

この成功要因は、なんといっても

・日本の伝統文化を守り、発展させていきたい

という大義名分です。

今まで色々なギネス申請をし、
マスコミ関係者に情報提供をしましたが、
このコンセプトが入っているものに関しては、
かなり掲載されていたように思います。

ギネス記録としては「日本独特の文化などに関係する記録ってどうなの？」
と思われるケースもあるのですが、

ギネス申請やギネス認定の先にある効果を考えると、
真剣に検討する価値がありますね！

┏━━━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━━━┓

・大義名分を全面に出す

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

回～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
ギ ネ ス 申 請　 虎 の 巻
VOL.50
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【大義名分を全面に出す】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050130.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【後々の活用を考える】

先日、住之江競艇場に設置されている大型ディスプレイ「ボートくん」が、
「世界最大の大型映像表示装置」としてギネス認定を受けました。

「ボートくん」は、縦１１．１３６m・横５９．９０４m・
表示面積６６７．０９?の大きさで住之江興業株式会社より依頼を受けた
パナソニックＳＳマーケティング株式会社が制作したものです。

この「ボートくん」認定に際し、関係者は
「世界でもっとも大きいと認定されたことは、大変喜ばしい。
　ディスプレイを活用したイベントなどを開催し、
　より多くの方に豊かなエンターテイメントを提供したい。
　一度、実際にご覧いただき迫力ある画像を体験していただきたい」

と語っています。

これを見て、しきりに頷いてしまいました。

イベントなどで「大きなオブジェ」などを作ってギネス申請！というのを
みかけますが、
「イベントの集客目的」としてギネス申請するという視点はOKだと思います。

ただ、どうせ同じ「大きな何か」を作るなら、
「ボートくん」のように日常的に使えたり、
それを活用したイベントを活用したり、
後々にも活用できる「何か」にしたいものです。

そうやって活用してはじめて、「費用や労力に対しての大きな効果」を
得られるのではないでしょうか。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

・後々の活用を考える
・何度も活用できる「何か」を作る

回～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ギネス申請　虎の巻

VOL.51

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【後々の活用を考える】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050214.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【食文化】

昨年１１月に、久留米で行われた第６回ラーメンフェスタ。
毎年多くの参加者があるそうですが、昨年はよりいっそうもりあがった
そうです。

それもそのはず、昨年は「ギネスに挑戦」と謳っての挑戦だったのです。
ホームページを見てみると「史上最強・最大！」と書いてあります。
・・>>　http://www.kurume.or.jp/ichi/ramenfestival2004.html
すごいインパクト・・・このコピー、ありふれているようですがいいですね。

さて、食の祭典に関してのギネス記録はたくさんあります。
また、地域地域では、様々な食の祭典があります。

この二つを絡めることによって地域の大規模なプロモーションが
できることでしょう。

ラーメンフェスタは、「ご当地ラーメン」をきっかけに、
久留米の活性化のために毎年行われている祭典ですが、
その他にも、すでに文化としては成り立っていない「過去の食文化」に
関して、その地域地域で行われている食の祭典などもあるでしょう。

現在の食文化をより発展させるために、
また、過去の食文化を保存するために、
なんらかの形でギネス申請し大々的にプロモーションできないか・・・

地域活性化に関わる皆さん、
皆さんの地域ではどんな「食の祭典」がありますか？

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

・現在の食文化をより発展させるため
・過去の食文化を保存するため
　食の祭典に絡めたギネス申請ができないか考えてみよう

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【食文化】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050228.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【最低の・・】

最低といっても、「あなたって最低な人ね」という意味ではありません。

ギネス記録では、「最も高い場所で行われた○○」という記録は
たくさんあります。
その反対に、「最も低い場所で行われた○○」「最も低いところにある○○」
という記録は、そう見ることはありません。

全く無いわけではなく、たとえば、
「もっとも低い場所にある水中ポスト」という記録があります。

これは日本の記録なのですが、海底１０メートルのところにあるポストが
ギネス記録として認定されています。
（ほんとうに投函もできるのですよ。）

このように、設置場所を変えるだけでギネス記録として
認められるケースもあります。
ちょっとした地域の話題づくりにいいですね。

ちなみに先ほどの海底１０メートルのポスト、
一般のダイバーがはがきを投函すると、
地元のダイバーに回収され、近くの郵便局から全国に郵送されるという
仕組みだそうです。

┏━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━┓

・最も低い場所で行われた○○
・最も低いところにある○○
という逆転発想をしてみよう！

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

回〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

ギ ネ ス 申 請　虎 の 巻

VOL.53

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【最低の・・】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050321.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。

皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな〜」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり〜

今日のヒント
【工芸品】

今日は、地域活性化に繋がるギネス申請を考えてみます。

各地にある「工芸品」のギネス記録も結構あります。

たとえば、岐阜県瑞浪市の直径２．８ｍの陶器の皿は
「最大の陶器の皿」としてギネスブックに掲載されていますし、
石川県松任市の直径４．８ｍ、奥行き４．９５ｍ、重さ２０００ｋｇの太鼓は
「世界最大の太鼓」としてギネスブックに掲載されています。

このように、文化や工芸品の認知向上を目的としてギネス申請するケースは
多いでしょう。
ギネス認定を受けたあとは、どこかにかざったりするでしょう。
当然それが観光の１名所になることもあると思います。

制作は業者が行い、一般参加を募ってお披露目式を行い、
その後どこかに飾る・・という流れが自然なようですが、
逆に、「制作」の段階から、旅行会社と提携して、
見学ツアーを組んだり、学校の遠足を受け入れたり・・・
そのような工夫をするところは少ないようです。

「工芸品」などに関して、大きなものやノッポのものを作って

ギネス申請をする・・という地域活性化手法は、
今後もどんどん増えてくると思います。

そのとき、イベントを単独で考えず、「旅行会社とのタイアップ」や
「遠足受け入れ」など、もっと他の要素を絡めて広い意味での地域活性化に
繋がるよう工夫をして欲しいですね。

┏━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━┓

・工芸品
・もっと他の要素を絡めて地域活性化に繋がる工夫
┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

回～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ギ ネ ス 申 請　 虎 の 巻

VOL.54

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【工芸品】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050328.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。

「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【祭り】

ギネスブックは、読み物としても、けっこう面白いものです。

日本語版ギネスブックには、「祭りと伝統」というコーナーがあり、
その中には、「最大規模の”カエルの足”祭り」や
「最大規模のニンニク・フェスティバル」、
「もっとも速いカタツムリ（世界カタツムリレースでの記録）」、
「ラクダレスリング・フェスティバルに訪れた最多観客数」など、
ちょっと聞いた限りではチンプンカンプンのものがあります。

なぜ、これらの記録（というかイベント）に耳なじみがないかというと、
それは、地域に根付いた「お祭り」だからです。

カエルの足祭りも、ニンニク・フェスティバルも、カタツムリレースも、
毎年開かれているものです。
ですから、私たちには耳なじみがなくても、歴史がありますので、
参加者が年々増えます。

だから、「へぇ、こんなマイナーなお祭りがこんなに盛り上がるの・・」
ということになります。

このように、全国的（世界的）に有名ではないけど、
地元では定番の「お祭り」は、驚くほど規模が大きいことがあります。
（なじみがある分、地元ではそれに気づいていない場合もあるのかも
　しれません。）

意外や意外、自分のスグ身近に、「ギネス級」のお祭りなどがあるかも
しれませんね。

┌────────本日のまとめ────────┐

・ひょっとして「ギネス級」・・・
　というお祭り、意外身近にあるかも

└──────────────────────────────────┘

回～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ギ ネ ス 申 請　虎 の 巻

VOL.55

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

前回のアイディアは、
【祭り】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050411.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【アミューズメント施設を活用】

地域にあるアミューズメント施設や、その他の施設。
規模が大きなものもありますので、
これらを使って何かできないでしょうか。

たとえば、図書館。

「いっせいに読書をした記録」など、できそうですね。

「長時間読書大会」などを企画すれば、「いちばん長く読書をした記録」
などもできそうです。

その他、色んな施設があります。
皆さんの近くにある施設では、どんなギネスイベントができそうですか？
ブレストをしてみてください。

●パチンコ

●プール

●遊園地

●スパ←「いっせいにお風呂にはいった記録」なんて、楽しそうですね！

●パットパットゴルフ

●ボーリング

●カラオケ

市町村やボランティア団体で地域活性化イベントを行う場合、
どうしても「予算的に・・・」となりがちですが、
これなら、協賛も得られそうです。

┏━━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━━┓

・地域のアミューズメント施設を活用した

ギネス記録挑戦イベントはできないか

回～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ギ ネ ス 申 請　虎 の 巻

VOL.56

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

長かったGWですが、そろそろ頭も冴えてきていることでしょう。
そんな起きかけの頭で、猪口っとアイディア、楽しんでください。

前回のアイディアは、
【アミューズメント施設を活用】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050425.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【楽器】

最近の猪口っとアイディアは、ちょこっとイベント系に偏りがちですが・・・
（清水の好みです。）

楽器に絡んだギネス記録も多くあります。

「最大のオーケストラ」
からはじまり、
「最大の○○アンサンブル」
「最大の動物オーケストラ」に至っては、”こんなものまで！！”
と、びっくりするあまりです。（ギネス世界記録２００５より）

先日も、愛・地球博で、大正琴の愛好家団体「琴修会」が主催した、
「大正琴を１０００人で合奏する」というイベントが行われました。
もちろん、ギネス記録挑戦イベントです。
http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050421-00000200-kyodo-soci

↑写真、見てください。壮観です！！

このように、独特の文化にもとづいた楽器のいっせい合奏もいいですね。

ちょっとポイントを変えれば、

「小学生によるハーモニカの大合奏」なんてのもいいかもしれません。
音楽の時間に普通に練習をするよりも、
こんなふうにイベント性を持たせるほうが精がでると思いますね。

また、地域色が強い楽器の大合奏もいいかもしれません。
沖縄のサンシンや浜松のピアノなど、
地域色が強い楽器をアピールする良いチャンスになりそうです。

学校教育の一環として、
地域活性化の取組みとして、
楽器を使ったギネス記録挑戦会もなかなかナイスだと思いますよ。

┌──────────本日のまとめ──────────┐

・楽器を使ったギネス記録挑戦イベントも可能性あり

└───────────────────────────────────┘

回～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

ギ ネ ス 申 請　 虎 の 巻

VOL.57

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

長かったGWですが、そろそろ頭も冴えてきていることでしょう。
そんな起きかけの頭で、猪口っとアイディア、楽しんでください。

前回のアイディアは、
【楽器】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050509.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな～」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント

【材料違いの大きな○○】

今日は、ほんとにちょっとしたアイディアです。

先日、Yahoo!の「ギネス」カテゴリで、こんな記事を見ました。

日本一の石の水車完成　滋賀・高島「観光目玉に」

巨大な石の水車を滋賀県高島市勝野の中村石材がつくり、
高島市内にある民間の観光施設「びれっじ２号館」に設置した。
石製水車としては日本一の大きさ。
商工会は「観光の目玉にし、町おこしに役立てたい」としている。

水車は直径２・６メートル、高さ３・５メートルで総重量は７・５トン。
制作した中村石材の中村社長は
「次回は直径３メートル以上に挑戦し、世界記録のギネスに
　申請したい」と話す

↑Yahoo 記事の要約。
全文は・・>>
　　http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050308-00000053-kyodo-soci

なるほどねぇ。と思いました。
ネタなんて、作ろうと思えばいくらでも作れますね。

この水車は、今まだギネス登録されているわけではなさそうです。
現在のところは、「日本一の石の水車」だそうですが、
将来的にギネス申請も視野に入れてそうですね。

この水車、水車は水車でも素材が違うのです。
通常の水車は、木製ですよね。

日本の水車でも、直径２４mの巨大水車があります。（グーグル調べ）

ここにチャレンジせず、あえて「石の水車」と、

素材を変えることでカテゴリを限定することもできるのです。

こういった発想の転換法を身につけておけば、
ネタなんていくらでも生まれてきそうですね！

┏━━━━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━━━━┓

・素材を変えてカテゴリを限定する
・そのカテゴリでＮＯ．１を狙う
（なんだかマーケティング講座みたい・・・）

┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━┛

回〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

ギ ネ ス 申 請　虎 の 巻

VOL.58

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜回

みなさんこんにちは。虎の巻担当の清水です。
この虎の巻コーナーでは、「こんなギネス記録、どう？」と、
ちょっとしたアイディアを紹介しています。

長かったGWがあけて約１ヶ月、そろそろ頭も冴えてきていることでしょう。
そんな起きかけの頭で、猪口っとアイディア、楽しんでください。

前回のアイディアは、
【材料違いの大きな○○】でした。
バックナンバーはこちら・・>>
http://www.sekaikiroku.com/merumaga/20050523.txt

色んな切り口で考えていきますので、お楽しみにしてくださいね。
皆さんの発想を刺激するため、なるべく不完全なアイディアにしますので、
あたまのなかで脚色を加えて具体的なものにしてくださいね。
「うちの会社だったらこうするな〜」
「私の町のイベントで使えないかな・・」　という風にです。

それと、これから皆さんにお伝えするのは、単に私の勝手なアイディアです。
「これをすれば必ずギネス記録になる！！」というものではありませんし、
なかには超現実的なものもあるかもしれません。
「ひとつのアイディア」ということで楽しんでください。

それでは、はじまりはじまり～

今日のヒント
【最速は最速でも・・・】

先日ある雑誌で、台北の「世界一高いビル」についての
レポートを見ていました。
その中で、「世界一高いだけじゃない。
　　　　　やはりエレベーターの速度もかなり速い」
みたいな一文に”はっ！”とさせられました。

ギネス記録の中には、速度に関しての記録が多くあります。
車の速度。
電車の速度。

でも、どの記録も、一般的に「乗り物」として認識されているものについての
記録だと思います。

エレベーターのように、「乗り物」としては普段 USE ではないものについて、
速度的なアプローチはできないか・・・なんて考えてみました。

もちろん、エレベーターの速度に関しては安全性の問題もありますし
法規制もあると思いますので、「世界一早いエレベータを作ってみよう！」
と考えたところで実現性が低いかもしれませんが、
普段 USE ではない乗り物・・という視点で見たとき、
気球やラジコン、遊園地の乗り物・・・・とアイディアの枠が広がりますね。

┏━━━━━━━━本日のまとめ━━━━━━━━┓

・最速は最速でも、普段ユースではない乗り物で最速がないか